

ART in EDUCATION

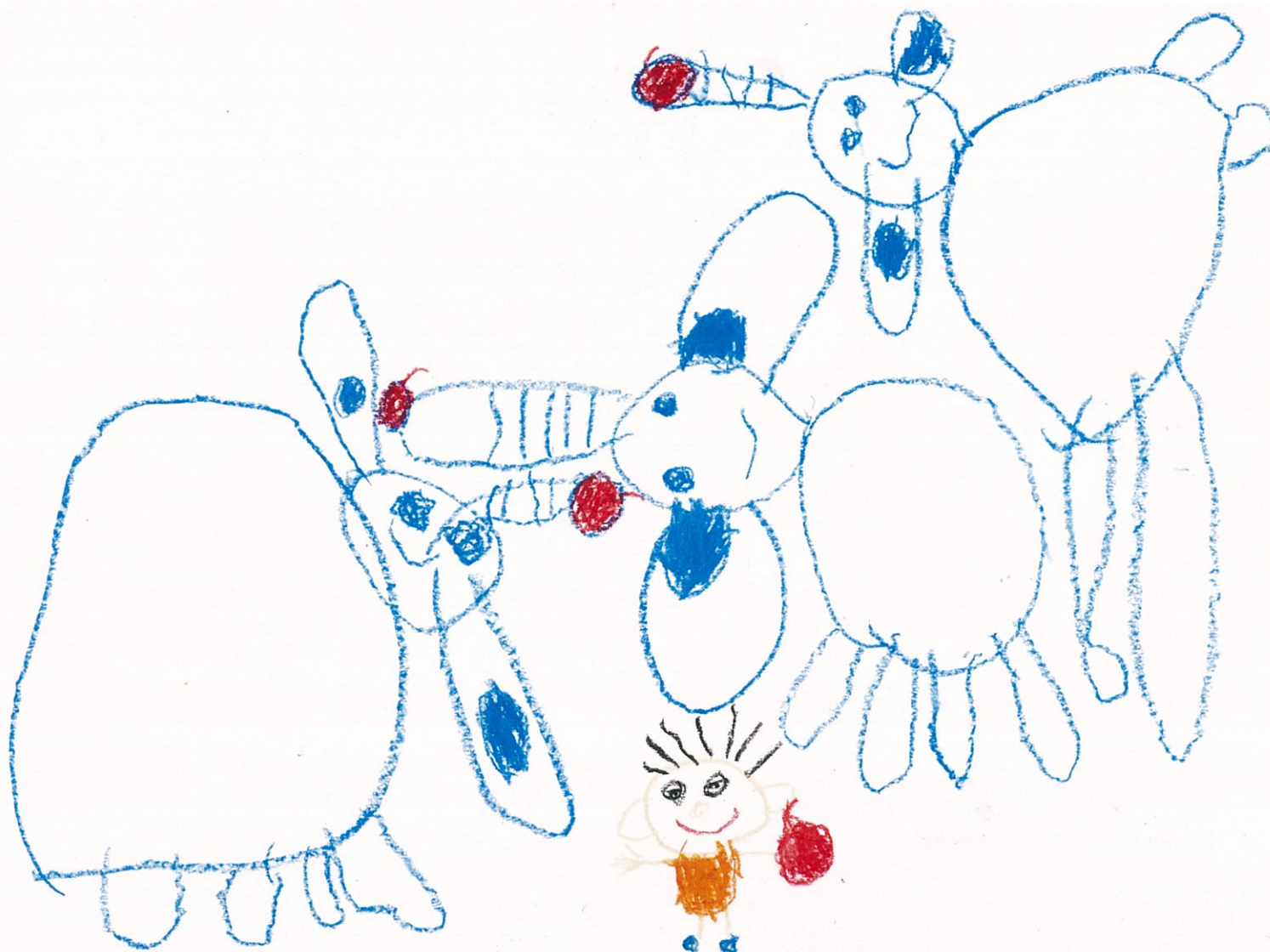
豊かな情操と想像力をはぐくむ

教育美術®

Nov. 2017 No.905

11

特集 生活に生かす造形を考える



研究会・イベント情報随時募集中!

教育美術振興会では美術教育に関する研究会や研修会、アートイベント、展覧会、ワークショップなどの情報を随時募集中。掲載ご希望の方は、HP (<http://www.kyoubi.or.jp/events.html>)から掲載依頼フォームにてお送りいただくか、FAX、メール等で情報をお寄せ下さい。 FAX: 03-3862-3932 E-mail: info@kyoubi.or.jp

展覧会・造形展のお知らせ

横浜トリエンナーレ2017「島と星座とガラパゴス」

会期: 2017年8月4日(金)～11月5日(日)
会場: 横浜美術館、横浜赤レンガ倉庫1号館他
内容: 「接続」と「孤立」をテーマに、相反する価値観が複雑に絡み合う世界の状況について考察。
<http://www.yokohamatriennale.jp/2017/>

改組 新第4回日展

会期: 2017年11月3日(金・祝)～12月10日(日)
※11/10(日)は「日展の日」として入場無料。
会場: 国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)
内容: 創立110年。数々の作家を輩出してきた伝統ある美術団体。期間中、親子鑑賞教室(11月12日・19日・26日)や講演会、シンポジウム、作家による作品解説が受けられる「らくらく鑑賞会」、映像による作品解説など有り。詳しくは<https://www.nitten.or.jp/index.html>
入場料: 当日一般1200円、高・大学生700円

シネリテラシーフェスタ 2017

会期: 【福島シネリテ映画祭】於: フォーラム福島
2017年11月25日(土) 14:00～16:00
【新潟シネリテ映画祭】於: 市民映画館シネ・ウインド
2017年12月2日(土) 14:00～16:00

事務局: 新潟大学教育学部 柳沼宏寿研究室
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地
TEL/FAX 025-262-6900
E-mail: yaginuma@ed.niigata-u.ac.jp

第10回「鉄鋼スラグ製品と海と森」アートコンテスト

会期: 応募〆切 2018年1月31日(水) 消印有効
発表 2018年3月予定
応募: 絵画、イラスト、写真(プリント)のいずれかの方法で表現。絵画およびイラスト作品の大きさはA4サイズ以内、写真は四つ切りサイズ以内。応募詳細 http://www.slg.jp/activity/art_contest/index.html
問合せ: 鉄鋼スラグ協会アートコンテスト係
TEL: 03-5643-6016

アンデパンダン展 in 長野県信濃美術館

会期: 2018年2月27日(火)～3月4日(日)
会場: 長野県信濃美術館
内容: 県内在住の方々の作品を公募し、展示。募集期間は平成29年10月13日(金)～11月13日(月)【当日消印有効】〒380-0801 長野市箱清水1-4-4 長野県信濃美術館 アンデパンダン展受付係
<http://www.kyoubi.or.jp/events/index/27>

解体直前アーティスト・イン・レジデンス

in 長野県信濃美術館

会期: 公開制作 2018年3月5日(月)～23日(金)
発表 2018年3月24日(土)～31日(土)
会場: 長野県信濃美術館
内容: 現在長野県でアートパークプロジェクトを進めている千田泰広、フィギュアを大量に組み合わせたインスタレーションや立体作品で現代社会の問題の視覚化を試みる three(川崎弘紀、佐々木周平、小出喜太郎)が、解体工事直前の信濃美術館で公開制作・作品発表を行う。
<http://www.npsam.com/exhibition/detail/AIR>

recommend この秋、先生にこそ見てほしい映画2選



©2017 Sorties d'usine productions - Institut Lumière, Lyon

リュミエール!

2017年10月28日(土)より順次全国公開
東京都写真美術館ホール他

『工場の出口』『ラ・シオタ駅への列車の到着』などで知られる映画の父、ルイ&オーギュスト・リュミエール。彼らはシネマトグラフを発明しただけでなく、今の映画の原点ともいえる演出、移動撮影、トリック撮影、リメイクなどの撮影技術も発明した。本作品は、1895年からの10年間に製作した1422本のシネマトグラフの中から、カンヌ国際映画祭総代表でありリヨンのリュミエール研究所ディレクターを務めるティエリー・フレマー氏が選んだ108本で構成されている。4Kデジタルで蘇ったリュミエールのシネマトグラフは、現在、映画づくりを授業に取り入れている先生たちにとっても大いに参考になることだろう。

監督・脚本・編集・プロデューサー・ナレーション: ティエリー・フレマー(カンヌ国際映画祭総代表)/製作: リュミエール研究所/プロデューサー: ベルトラン・タヴェルニエ/90分/モノクロ/2017年カンヌ国際映画祭正式出品作品/配給: ギャガ <http://gaga.ne.jp/lumiere!/>



©2017 Twentieth Century Fox

gifted/ギフトッド

2017年11月23日(木・祝)より順次全国公開
TOHO シネマズ シャンテ他

ギフトッドとは、生まれつき平均よりも著しく高度な知的能力を持つ人、またはその能力のこと。とりわけ工学や数学、芸術などの分野で才能を発揮することが多い。そうした子どもへの教育をアメリカでは「ギフトッド教育」と呼ぶそうで日本でも注目されつつある。この物語では、ずば抜けた数学の才能を持つ7歳の少女メアリーをめぐる、普通の子として育てたい叔父のフランクと、子どもの才能を伸ばすことが大人の使命だと信じて疑わない祖母イブリンが対立する。教育とは何か。子どもの可能性を育むとはどういうことか。メアリーとフランクの絆の中に、その答えを見出すことができるだろう。

